

心ひとつに

弥富市立桜小学校
学校だより
No.27
平成25年1月16日

別れたくないと思えるクラス—先生とみんなの力で—

1月15日(火)、全校朝礼時に3学期の学級委員の認証を行いました。どのクラスの学級委員も教務の余郷先生から名前を呼ばれると、大きな声で返事をして、立派な態度で認証状を受け取ることができました。2年梅組の女子学級委員は、欠席している男子学級委員の名前が呼ばれると、「欠席です!」としっかりと答えてくれました。その場に応じた適切な対応に感心させられました。

「学級は、先生と私たちが創り上げていくものなんだよ」

この言葉は、今、弥富中学校で勤務するある先生が中学生の頃、学級みんなに呼びかけた言葉です。その生徒の担任は、「学級委員がみんなに呼びかけたこの言葉を一生忘れることができないよ」と、その当手を振り返りながら述懐されます。

そうです、その通りです。学級は、先生と児童生徒が創り上げるものです。今年は桜小と日の出小に分離の年です。皆が3月の別れを惜しむことができるクラス、大人になっても思い出に残っているクラスを、今日、認証された学級委員を中心に、先生とクラスのみなが、心をひとつにして創り上げてくれることを願っています。

全校朝礼の話より (1/15)

「二つの勇気」

勇気というのは、人間にとってとても大事な力です。

この勇気という力をもたないと、人は何かに挑戦するということできません。勇気があってこそ、人間はたくさんの困難に立ち向かい、それを乗り越え、成長することができます。私たちがとても大切にしなければならない人間の力です。

でも、勇気には二通りあります。

それは、「**する勇気**」と「**しない勇気**」です。「**する勇気**」、それは、今、話をした困難なことに会っても、挫けないで、立ち向かう「**する勇気**」です。

もう一つの勇気は「**しない勇気**」です。実はこの勇気がとても大切なんです。

こんな話があります。困難な(とても難しい)山に登る人(登山家)が厳しい山へ登っていました。大変な苦労を積み重ねて、いよいよあと少しで頂上というときに、天気が急に悪くなって嵐ようになってしまいました。頂上は目前ですし、今までの苦労を思うとここで引き返すことはできません。しかし、さらに上に向かうと死んでしまう危険性もあります。そこで、彼は頂上へ行くことをやめて引き返すことにしました。この勇気です。「**しない勇気**」です。これはとても大切な勇気です。



みなさんの生活で考えてみましょう。友達をいじめている人がいたとします。その時に、「おまえもやれよ」と言われると、自分がしないのは勇気がないと思われるからと、いじめの仲間に加わってしまう、・・・どうですか?

こんなとき、「**絶対にしない**」というのが本当の勇気です。人に悪いことを誘われても、私たちは「**しない勇気**」をもたなくてはなりません。そればかりか、いじめをしている人を見たら、「おい、やめろよ」と、友達に注意するのが本当の勇気です。

絶対にしてはいけないことをするのは、勇気ではなく「**蛮勇**」ぼんゆうと言います。低学年の人には難しい言葉だと思います。蛮勇とは、物事の善し悪しを考えずに発揮する勇気。向こう見ずの勇気のことを言います。

「**する勇気**」と「**しない勇気**」しっかり心に刻んで、日々の生活を送ってください。